



昭和28年4月 第17回祖国復帰郡民大会。泉芳朗復帰協議会議長ほか各種団体の代表が高千穂神社で断食を行った。断食は昭和26年8月に初めて行われ、その後も非暴力による祖国復帰運動の象徴として各地で実施された。

【提供】吉良一良（名瀬市）



昭和28年8月。ダレス声明に歡喜。屋根に上り祝賀飛行機に日の丸を打ち振る。【提供】吉良一良（名瀬市）



昭和28年8月 喜びにあふれ賑わう名瀬市永田橋公設市場。【提供】鹿児島県

昭和38年12月 宇検村役場前の広場に入ってくる復帰10年記念パレード。復帰前後に生まれた子供達も当時の話を聞き、復帰の喜びをかみしめた。
【提供】坂本明子（宇検村）




昭和40年5月 名瀬市おがみ山での復帰記念碑の落成式。現在、同じ敷地に、「復帰の父」と称される泉芳朗氏の胸像、「断食悲願」の詩碑が建立されている。
【提供】丹羽写真機店（名瀬市）

昭和39年 名瀬市山羊島付近。海苔取り。【提供】龍野為義（鹿児島市）



昭和47年6月
慈の人達。潮満潮時に入江が浅いので、入江が浅いので、



昭和47年6月 「垣漁」を楽しむ瀬戸内町加計呂麻島木
慈の人達。垣漁は、遠浅の入り江の出口に石垣を築き、
満潮時に入り込んだ魚を干潮時に拾い集める漁法だ。遠
浅の入江がある龍郷町や笠利町等でもみられた。

【提供】瀬戸内町



昭和30年代 県道名瀬瀬戸内線（現・国道58号）の和瀬峠（名瀬市と住用村境）付近。谷添いの悪路をボンネットバスが進む。

【提供】鹿児島県



昭和35年頃 徳之島町亀徳港。港湾整備が進み、大型船舶も接岸できるようになった。【提供】鹿児島県





高度経済成長と
国的に脚光を浴
の若者で島中が
子清美（与論町）

昭和46年8月頃 与論港。昭和40年代の高度経済成長と離島ブームに伴って奄美群島の観光は全国的に脚光を浴びた。特に、夏場の与論島は、都会からの若者で島中があふれた。

【提供】金子清美（与論町）





昭和50年6月 瀬戸内町請島の請阿室棧橋。古仁屋港から生活用品を積んだ町営定期船「せとなみ」の到着。1日1便の寄港時が島で一番活気の出る時だ。【提供】瀬戸内町



昭和30年12月 名東大火後の市街地。10月に118棟、2カ月後に1365棟焼失の大火が発生した。【提供】原田観吾（鹿児島市）

の歩みは遅く、奄美群島を何日も閉じこめる。人々は
過すのをじっと耐えるしかない。
それまで降雨の少なかった地域に、患いの雨をもた
もあるが、たいていは暴風と大雨で、大きな被害をも
まれた奄美の人々は、大自然にいつも向き合って生き



昭和30年12月 名瀬大火後の市街地。10月に118棟、2カ月後に

遅く、奄美群島を何日も閉じこめる。人々は

災害

度重なる災害から 人々は何度も 立ち上がった

奄美群島は亜熱帯気候で、四季を通じて温暖、多雨であるが、季節によってその程度は変化し、梅雨時の局地的大雨、夏場の台風、夏から秋にかけての台風、冬の季節風による降雪等色々な形の自然災害にしばしば見舞われる。

特に、夏から秋にかけて、台風には常に注意しておかなくてはならない。はるか南海上に発生した台風は、南西気流をうかがうように進行し、島の熱い海域で徐々に発達する。偏西風による

雨の台風の中心は強く、奄美群島を何日も閉じこめる。人々は台風が過ぎるのをじっと耐えるしかない。

台風は、それまで降雨の少なかった地域に、込みの雨をもたらすこともあるが、たいていは暴風と大雨で、大きな被害をもたらす。

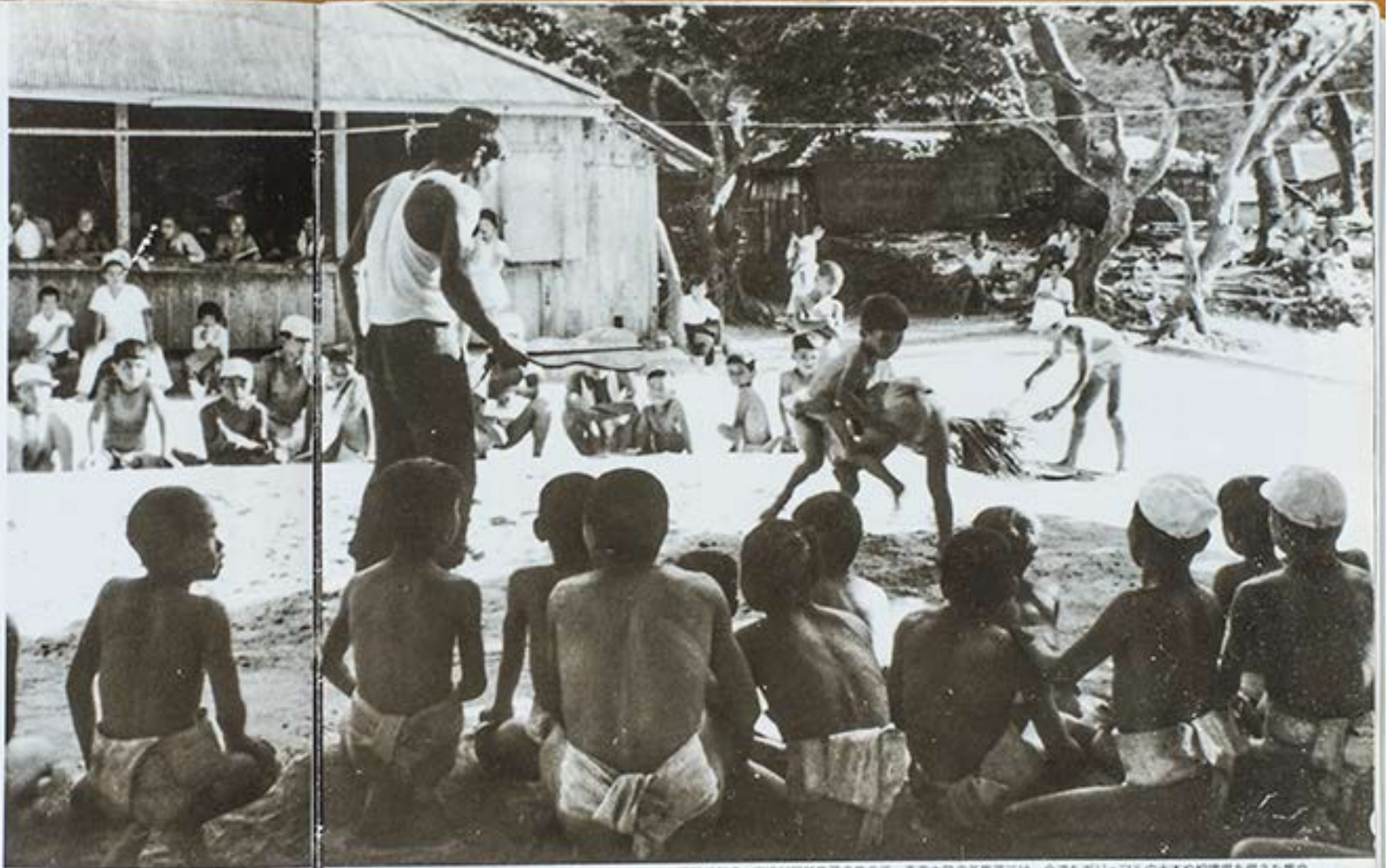
海に囲まれた奄美の人々は、大自然にいつも向き合っている。



昭和24年11月、奄美大島東部の奄美郡、石川町に台風、2万坪強の巨樹が倒れ大人数が死傷した。【撮影】 藤田真治（鹿児島県立）



昭和24年11月、奄美大島の奄美郡、石川町に台風、2万坪強の巨樹が倒れ大人数が死傷した。【撮影】 藤田真治



昭和24年頃：宇候村脱純集落の集会所。奄美大島の各集落には、少くもガジュマルの大木や相模松を囲えた集会所があり、住民の憩いの場になっている。【提供】山下 薫（宇候村）



昭和26年頃 喜界町湾港。当時は本土へは自由に出られなかった。写真は、奄美大島の高校生が喜界島へ見物に
来た時の記念に撮影した。当時の喜界～名瀬航路の船は写真左後方のように小さなものだった。また、車もなく
荷馬車や馬で運搬をしていた。 【提供】平田和子（神戸市）



昭和32年頃 昭和30年9月に開校した名瀬市立金久中学校。市街地を取り囲む山々には段々畑が連なっていた。現在では、同校前の海岸は埋め立てられ、校庭や名瀬新港等になっている。当時漸新なデザインの円形校舎は話題を呼んだ。
(昭和33年 第2回卒業アルバムから)

昭和50年3月 瀬戸内町の加計呂麻島芝。昇曙夢(直隆)氏の生地での胸像建立除幕式。ロシア文学者の氏は奄美の歴史にも造詣が深く、昭和24年に「大奄美史」を著した。また、東京にあって奄美大島日本復帰対策全国委員会委員長として、復帰運動にも力を注いだ。(昭和33年逝去、81歳)

【提供】瀬戸内町



涙がでた



昭和28年6月 龍郷村戸口。地元の青年団、壮年団の演劇活動。
【提供】重田シオリ（龍郷町）



昭和38年 名瀬市支庁通りをパレードする田端義夫氏。「バクヤン」の愛称で親しまれていた氏は、以前から奄美で歌われていた「島育ち」を歌い大ヒット。奄美の名を全国に広めた。
【提供】丹羽写真機店（名瀬市）



示
昭和54年 伊仙町の泉重千代翁。昭和54年に長寿世界一になった。写真は、
県民車座対話の折、翁宅を訪問した鎌田県知事から大好きな黒糖酒でお祝い
を受けているところ（昭和61年逝去。120歳）。 【提供】鹿児島県



昭和29年10月 嘉界町阿伝の秋祭り。集落総出で浜に繰り出した。【提供】田島 操（大阪市）



昭和53年2月 瀬戸内町の加計呂麻島諸鈍の大屯神社境内で行われる諸鈍シバヤ（芝居）。
昭和51年に国の重要無形民俗文化財に指定された。 【提供】瀬戸内町



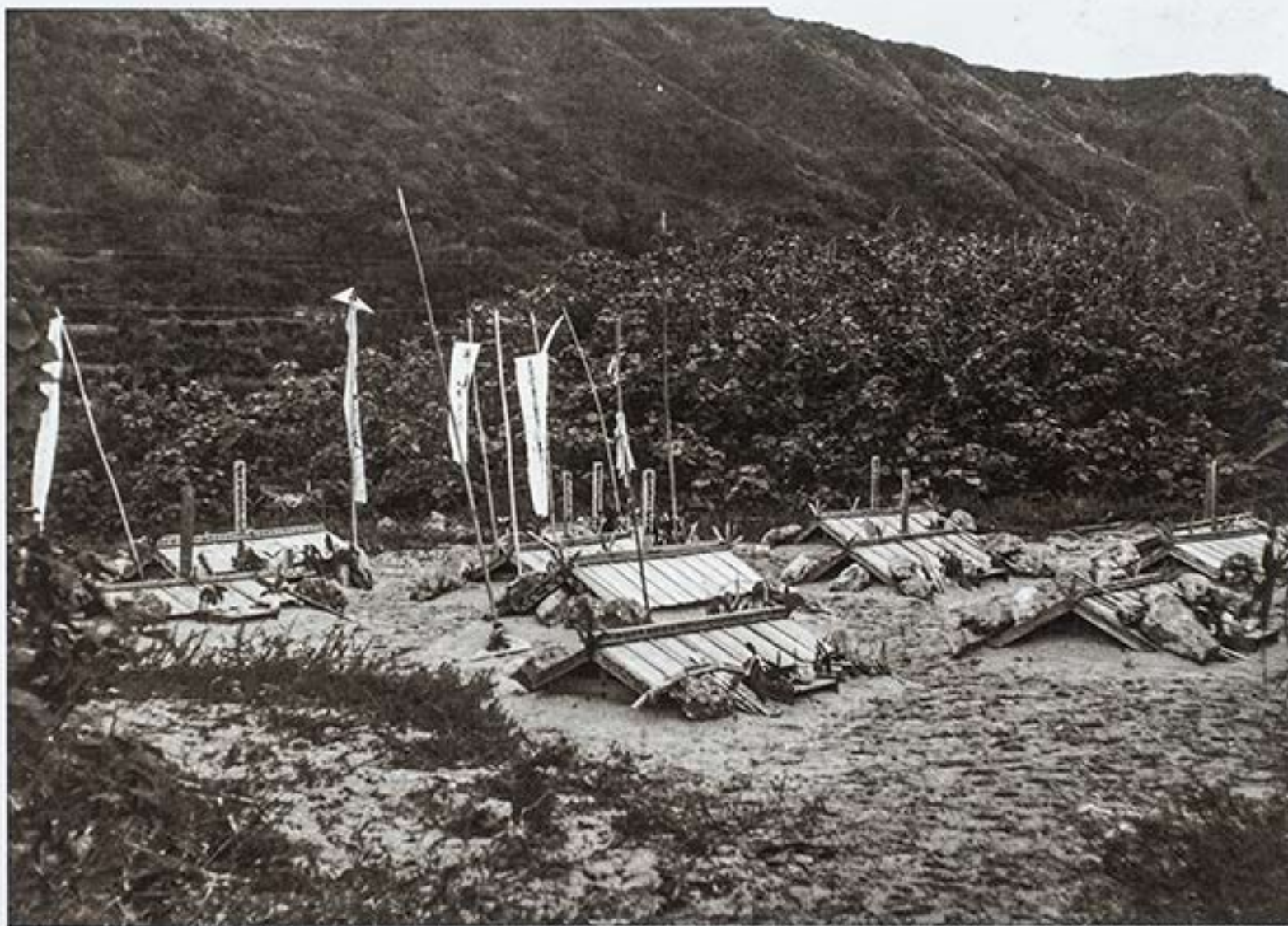
昭和45年8月 名瀬港での舟こぎ競争。1艇に8人が乗る。現在は100艇近くが参加し力を競うが、本番が近づく頃は、夕方遅くまで練習する姿がみられ、真夏の風物となっている。 【提供】吉田富實穂（鹿児島市）

昭和38年10月
用血液の輸送を
なった現場に慰



昭和44年 伊仙町犬田布岬での第2回戦艦大和慰霊祭。
昭和20年4月、約2,700名の乗組員が徳之島沖で撃沈され
た戦艦大和と運命をともにした。その洋上を望む岬に昭
和43年特攻艦隊戦士慰霊塔が建立された。

【提供】鹿児島県



昭和45年 喜界町阿伝の地葬場。埋葬して3年後に掘り起こし、改葬して先祖代々の墓地に納骨した。【提供】岡本敏久(奈良県王寺町)



昭和30年代 龍郷町加世間峠から赤尾木方向を望む。奄美大島で幅が一番狭い地域いっばいに、サトウキビ畑が広がっている。左上方は戦前に使われた無線塔群。
【提供】丹羽写真機店（名瀬市）



昭和27年3月 奄美群島政府の正門前で、工務部公益事業課の職員一同。後ろの建物は昭和37年に建て替えられるまで県大島支庁の庁舎として使われた。 【提供】有馬三男（名瀬市）



舎。38年に新庁舎が完成。
【提供】松下 薫（伊仙町）



昭和46年頃 瀬戸内町役場庁舎。古仁屋大火後の昭和35年に造られたモダンな建物。平成元年に新庁舎が完成し移転した（跡地には、古仁屋郵便局が建てられている）。
【提供】瀬戸内町



昭和46年 大和村大和浜の群倉(高倉群)。現在、道路は県道名瀬瀬戸内線として整備されており、その横に群倉
を見ることができる。高倉は群島全域で見られ、穀物等を湿気やネズミなどから防ぐ構造となっている。

【提供】榎 安男(名瀬市)



昭和36年頃 喜界町役場前の中央通り。【提供】藤原光雄（喜界町）

昭和
の人



昭和41年 与論町。舗装工事中の茶花中央通り。
【提供】川畑 勇（与論町）



通り。
論町)

昭和56年頃 与論町。観光客で賑う夜の与論銀座。【提供】与論町



終戦直後の大和村戸円。手前が当時の主要道路。茅葺きの民家、木造の学校などが見える。
【提供】塚元重吉（鹿児島市）

る風景

や物で

いた



昭和30年 名瀬市塩浜。中央は八シケの着く名瀬港突堤。湾奥は名瀬市中心街。付近一帯は昭和40年代に埋め立てられ、現在名瀬新港や国の合同庁舎、住宅等が建ち並んでいる。 【提供】柳田栄次（鹿児島市）

風景



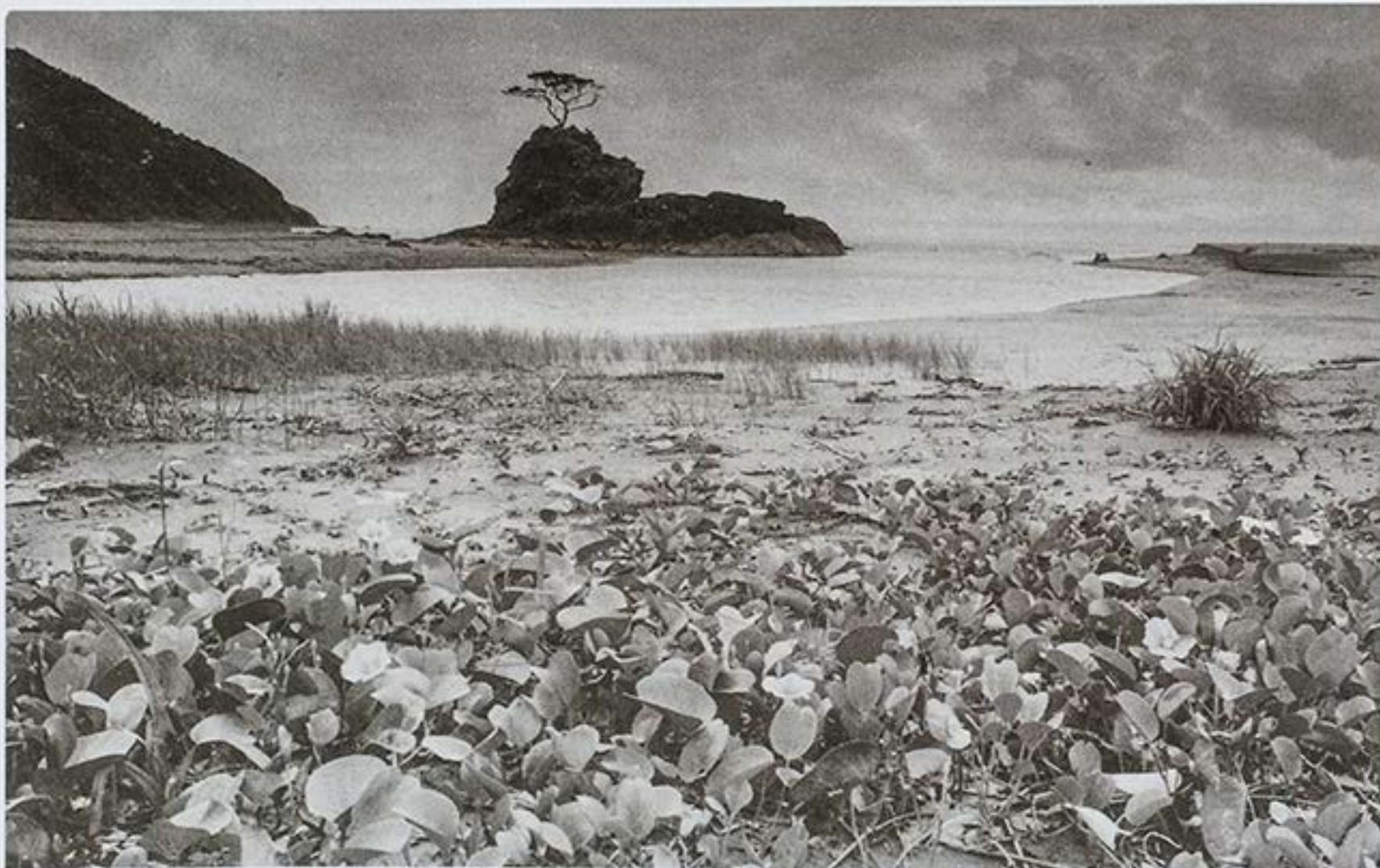
昭和29年 名瀬市佐大熊から山羊島を望む。現在は連絡橋やホテルができたほか、付近には国道58号の山羊島トンネル、名瀬港堤防等が造られるなど様変わりしている。 【提供】求 純利（名瀬市）



昭和20年代 おがみ山からみた名瀬市街地。その後、塩浜（昭和41年）、佐大熊（同44年）、長浜（同45年）等の地先は埋め立てられ住宅や商店街になっている。
【提供】金森 正（名瀬市）



昭和56年頃 埋立以前の名瀬市の小宿海岸。手前は小宿大川。昭和59年に地先水面の埋立事業が完成し、人口3千人を越す住宅街（浜里町、平松町）が出現した。 【提供】平 三國（名瀬市）



昭和46年8月 名瀬市小湊の琉球松「クジラ松」。昭和56年頃枯れ落ちた。【提供】川田吉博（名瀬市）

漁船や漁具が建設されている。

【提供】五十清夫（弓崎町）



昭和30年頃 名瀬市小湊のナトの浜。昭和36年、第二室戸台風で海岸線が崩れ、護岸工事が行われた。
【提供】隣 重俊（名瀬市）